おとぎ話

その赤子の手は
あらゆる物を
別の物に
「変質」させた

長男はガチョウに
変えられた
父親は早々に
追い出した

すぐに権力者に
監禁されたが
閉じ込めた檻も翌日には
ケーキに変わっていた

権力者はやむなく
娘処分を命じるが
檻も炎も別の物に
変えられてしまう

ならばと山に
捨てようとするが
運ぶ籠さえ
カボチャと化した

被害は拡大し
打つ手のなくなった
権力者は村ごと
赤ん坊を放棄した

檻もいなくなった
その村で
赤子は泣き続ける

魔王

だがその噂を
聞きつけなお
その村を目指す
人々がいた

人生に絶望した者
不治の病を抱えた者

赤子の手に触れれば
「何か」に変わる

変になって
しまうかも
しれない

異形の何かに
なるかもしれない

だが今の自分ではない
「何か」に変わる

赤子の手は
絶望した悪魔の
希望となった

いつしか赤子は
異形の魔物達に
守られていた

異形の魔物達は
人間社会との
摩擦を生み

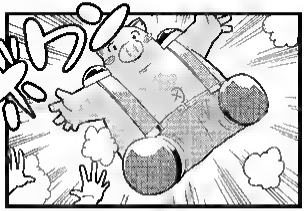
やがて紛争が始まり
大戦争に発展する

勇者たんー
ムニャムニャー

ぬおおお いかん!
また「何か」に変えられる!
おねえさまー! 助けて!
おねえさまあああ!

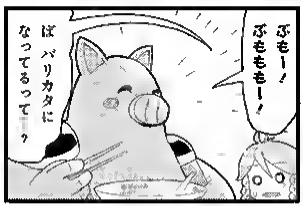
©2019 Kaiji Tang Studio / Kadokawa Corporation

こってり勇者



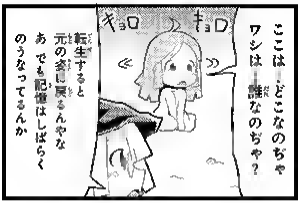
いけ！ オークさん！

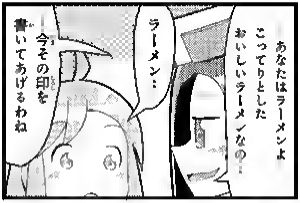
硬くなるのぢゃ

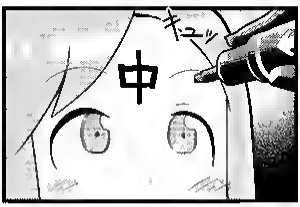


明日もお待ちしております

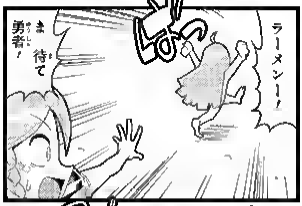
元はラーメンでした



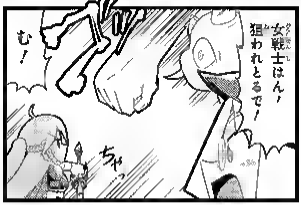




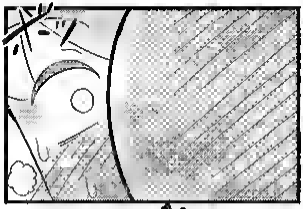
マシマシ勇者



僕が守らなきゃ！

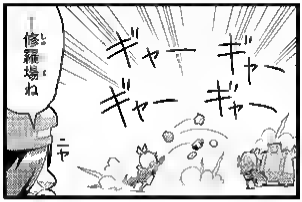


ときめきキスは突然に



なびいた

ボクのために争わないで！



どんな関係なの!?

パワー系四天王

幼なじみがいたの

なぁ玄武ぱん
あんたオンマに
キスされたくらいで
こんなオークと
付き合いたいん？

傍から見ると
ちょっとおかしいで？

むむん！
でたぞ！
玄武は初めて
キスした奴と
結婚することに
なるぞ！

そわそわ

えホ
オントか？

げ 玄武！
今まで黙ってたけど俺
占いが得意なんだ！

そうなんだー
なんか占ってよー！

ス―だって昔占って
もらったんだもん
幼なじみに

私には昔
仲の良い男の子の
幼なじみがいて
ある晩ごう言ったの

FLY ME TO THE MOON

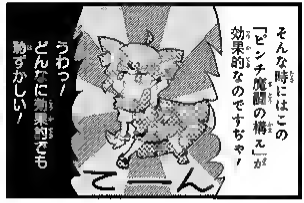
イヤー
――ッ!!

そしてそれから
初めてキスしてくれたのが
オークさんだったの

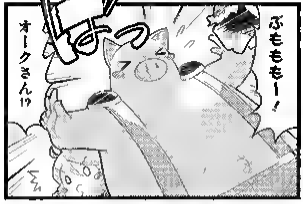
ぽっ

あ 占いの方は
まだ信じとるんや

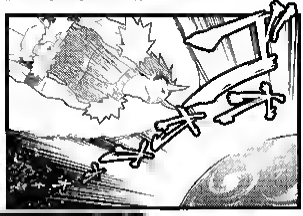
いざという時に



刮目せよ



3年かかりました



運動量保存の法則

次回更新は 1月 12日（火）